

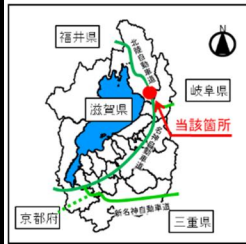
再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 一般県道加田田村線 加田工区	事業区分	地方道	事業主体	滋賀県
起終点	自：滋賀県長浜市加田町 至：滋賀県長浜市加田町			延長	1.4km
事業概要					
本事業は、(仮称)神田スマートインターチェンジに連結するアクセス道路である。当路線を(仮称)神田スマートICと一体的に整備することにより、企業の物流活動の円滑化および防災拠点へのアクセスルートの形成等、産業・防災分野等において、より一層の整備効果が期待できる事業である。					
R5年度事業化		- 年度都市計画決定 (- 年度変更)		- 年度用地着手	
R5年度事業化		- 年度用地着手		- 年度工事着手	
全体事業費	約8.5 億円	事業進捗率	約1 %	供用済延長	-km
計画交通量	3,300 台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 7.6 / 7.6 億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 84 / 84 億円
	11.0				
	15.2 [2%]	38.8 %	事業費: 6.6/6.7 億円		走行時間短縮便益: 77/77 億円
	18.2 [1%]		維持管理費: 0.94 / 0.94億円		走行経費減少便益: 5.2/5.2 億円
	(残事業)	(残事業)	更新費: - / - 億円		交通事故減少便益: 1.9/1.9 億円
	11.1				
感度分析	(参考)				
	16.4 [2%]	39.9 %			
	18.5 [1%]				
事業の効果等					
1. スマートIC整備と合わせたアクセス道路の整備により、企業の物流活動の円滑化や遅延リスクの回避等が図られ、地域産業の活性化に寄与することが期待できる。					
2. (仮称)神田スマート IC の整備により、臨時ヘリポートや広域輸送拠点、防災拠点等、各拠点施設へのアクセス時間が短縮し、名神高速道路方面からの支援に対して受援拠点となる神田 PA からの救援・救助活動の迅速な展開が期待できる。					
関係する地方公共団体等の意見					
・「長浜市総合計画第3期基本計画」(R4.12策定)の主要事業に位置付けられている。					
・南長浜地域のまちづくりを推進する会や長浜商工会議所等から本事業の早期実現の要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
周辺開発を踏まえたルート見直しの必要性が生じた。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率0%、事業進捗率約1%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期完了を目指し、設計、用地取得を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
建設発生土の公共事業箇所への流用などにより、着実なコスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値)